科目名	47．地域での暮らしと人々				
履修年次	1年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	人々の地域での暮らしを理解することができる				
到達目標	１）看護の対象は地域で暮らすすべての人々であること理解するために、自分自身と人々のかかわりを振り返り、人と人がつながって生きていることを見つけながら、地域で暮らすということを自分なりに表現できる ２）人々の生活圏・生活背景を理解するために、既習の知識を生かし、環境が生活にどう影響するかを表現できる				
評価方法	筆記試験（80点）・学習到達度基準を用いたレポート評価（20点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論Ⅰ　医学書院 系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の実践　地域・在宅看護論Ⅱ　医学書院				
参考文献	家族看護を基盤とした地域・在宅宅看護論 日本看護協会出版会 地域の特性がみえてくる地域診断　医歯薬出版株式会社				
教育方法と学生への期待 (求めること)	「地域での暮らしと人々」では、看護の対象は地域で暮らすすべての人々であり、その地域の生活圏・生活環境を理解し、環境が生活にどう影響するかを、自分たちで調べていきます。その調べたことをグループワークで深めていきましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	地域の概念	地域とは 地域のとらえ方 暮らしの理解	講義 演習
2	生活環境と健康	自然環境の変化と人々の健康問題 少子、高齢化社会の現象 社会環境の変化と人々の健康問題 文化的な環境と人々の健康	講義 演習
3	地域の理解①	地域の特性や生活圏	演習
4	地域の理解②	地域の特性や生活圏	演習

5	地域・在宅看護の対象①	ライフステージによる多様性	演習
6	地域・在宅看護の対象②	健康レベルの多様性	演習
7	暮らしの中に入る	在宅に入るためのマナー	講義 演習
7.5	まとめ	地域・在宅看護に求められる役割	講義 演習